

夢中熱中青春ライフ!



32

大館パイプ・スモーカーズクラブ

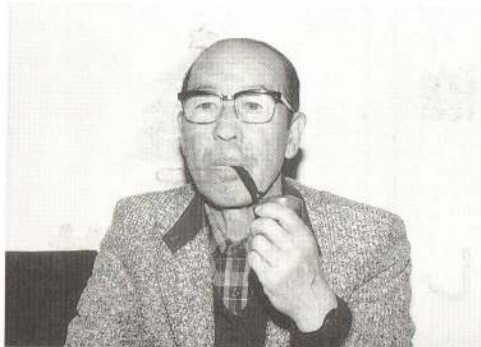
たなびく紫煙に身をゆだね、芳醇な香りと味を楽しむパイプスモーカーズ。パイプたばこは、紙巻たばこでは決して味わえない心のやすらぎを与えてくれます。

今回は、大館パイプ・スモーカーズクラブ代表幹事の齋藤さんに、パイプたばこについてお話を伺いました。

辛くて一時やめたんです

私が初めてパイプを吸ったのは、今から四十年前。友人からコーンパイプをもらったのがきっかけでした。五、六年間続けましたが、吸い方を知らなかったで、辛くて一時やめたんです。

本格的に吸い始めたのは八、九年前からです。四、五人の友人たちと内輪で楽しみながら、



パイプスモーカーズの大会に出場したりしていたんですが、四年前に大館パイプ・スモーカーズクラブを作り、日本パイプクラブ連盟に加入しました。連盟に加入しているのは、県内では当会だけなんです。

世界記録は

3時間9分3秒

パイプスモーカーズの大会では、三グラムのたばこを、どれだけ長く火を絶やさず吸い続けられるか競うんです。今年、熊本県で開かれた第二十回全日本パイプスモーカーズ選手権大会では、会員の加賀昭五さんが一時間十九分三十八秒で十五位、私は五十七分三十八秒で六十一位。優勝者は二時間三十分五十八秒でした。以前、東京で開催された世界大会にも出場したんですが、当会の会員は一時間くらいしかもたず、とても問題に



齋藤さん所有のパイプと3gのタバコ

なりません。世界記録は三時間九分三秒なんです。

パイプは心のやすらぎ

パイプの良さは、心のやすらぎが得られることです。本を読みながらとかレコードを聞きながらとか、人によって吸い方はいろいろですが、私は何もしないでゆっくり吸うのが好きです。

大館パイプ・スモーカーズクラブの会員は十六人で、毎月第三土曜日に定例会を開き、決められた量のたばこを長く吸う練習とコンテストをしています。しかし、会場が狭くて残念ながらこれ以上会員を増やすことができないんです。パイプたばこの良さをわかってもらうためにも、そのうちパイプ講習会を開こうと考えているので、パイプをやりたい方はぜひおいでください。

帯広発 → 大館着

前略

大館市民になりました

33

☆今回は有浦2丁目の松田栄一さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか?

妻の明子と二人です。

Q・どちらからおおいでになりましたか?

今年の三月、転勤で北海道帯広市からきました。

Q・大館の印象はいかがですか?

帯広市は、北海道の中では比較的歴史の浅い街でしたので、大館の街並みを見て、歴史のある街だなと感じました。四方が山に囲まれていたのにもびっくりしました。

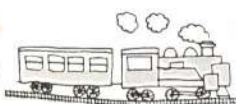
Q・食べ物や言葉はどうですか?

さりとたんぼは、ポリウムがあっておいしいですね。また、北海道ではゼンマイやワラビくらいの山菜しか食べたことがなかったので、大館に来て初めてボンナヤシドケを食べて、そのおいしさにびっくりしました。とんぶりも初めて食べたんですが、プチプチという歯ごたえがいいですね。言葉は、最初のうちはよくわからなかったんですが、会社の人たちと話しているうちに、だいぶわかるようになりました。

大館の人はみんなあつたかくていいですね。

Q・大館にどんなことを望みますか?

資源ごみの収集回数が少なく、資源ごみをためておく場所もないので、もったいないんですが燃やせるごみとして出しています。資源ごみの収集回数を増やし、発泡スチロールなど、もつと資源ごみの分別の種類を増やしてほしいと思います。



栄一さんと奥さんの明子さん